

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

＜会社情報＞

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

会社情報

会社概要

会社名 : 森永乳業株式会社
(MORINAGA MILK INDUSTRY CO.,LTD.)

本社所在地 : 〒108-8384 東京都港区芝五丁目33番1号

代表者 : 代表取締役社長 宮原 道夫
代表取締役副社長 野口 純一

創業 : 1917年(大正6年)9月1日

設立 : 1949年(昭和24年)4月13日

資本金 : 21,731百万円(2019年3月31日現在)

従業員数(単体): 3,247名(2019年3月31日現在)
(連結): 6,157名(2019年3月31日現在)

事業内容 : 牛乳、乳製品、アイスクリーム、飲料、その他の食品などの
製造・販売 他

URL : <https://www.morinagamilk.co.jp/>

事業所(2019年3月31日現在):
工場・市乳センター 15カ所(佐呂間工場、別海工場、盛岡工場、福島工場、利根工場、東京工場、東京多摩工場・大和工場・東日本市乳センター、松本工場、富士工場、中京工場、近畿工場、神戸工場・西日本市乳センター)
支社・支店・商品センター・管理センター 6カ所(東北支店、首都圏支社、管理センター、商品センター、中部支社、西日本支社)
研究・情報センター 1カ所(座間市)

国内連結子会社

森永乳業販売株式会社
株式会社ナポリアイスクリーム
森永乳業北海道株式会社
エムケーチーズ株式会社
株式会社フリジポート
森永酪農販売株式会社
株式会社トーワテクノ
株式会社リザンコーポレーション
エム・エム・プロパティ・ファンディング株式会社
十勝浦幌森永乳業株式会社
東北森永乳業株式会社
横浜森永乳業株式会社
森永北陸乳業株式会社
熊本森永乳業株式会社

株式会社クリニコ
株式会社東京デリー
森永乳業九州株式会社
株式会社シェフォーレ
株式会社森乳サンワールド
森永エンジニアリング株式会社
株式会社サンフコ
北海道保証牛乳株式会社
日本製乳株式会社
富士森永乳業株式会社
東洋発酵乳株式会社
広島森永乳業株式会社
沖縄森永乳業株式会社

主な海外現地法人・合併会社

Morinaga Nutritional Foods, Inc.
MILEI GmbH
Morinaga Milk Industry (Shanghai) Co., Ltd.
Morinaga Nutritional Foods (Asia Pacific) Pte. Ltd.
PT. Kalbe Morinaga Indonesia

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

▶ 会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

商品カテゴリー

経営理念「乳で培った技術を活かし、私たちならではの商品をお届けすること、健康で幸せな生活に貢献し豊かな社会をつくる」のもと、さまざまな商品・サービスを展開しています。

森永乳業は1917年に「日本煉乳株式会社」として創業して以来、乳の技術を活かした商品を数多く生み出してきました。

1969年には、腸内フローラの改善による整腸効果が期待される「ビフィズス菌 BB536」の発見や、1960年代から長い時間をかけて研究してきた、乳児を守る重要な成分ラクトフェリンなど、乳を基にした栄養機能性素材を数多く研究しています。

「森永ビヒダスヨーグルト」はビフィズス菌BB536を配合したヨーグルトとして1978年に発売され、いまでも変わらずお客さまの健康を守っています。

また、乳児を守る重要な成分とされるラクトフェリンを配合した、世界初の育児用ミルク「森永BF-L ドライミルク」を発売しました。

優れた開発力や技術を活かした、パイオニア的商品が多いことも特長です。

1961年に日本初のコーヒー用粉末クリーム「クリープ」を発売しました。クリープは、インスタントコーヒーが定着し、日本にコーヒー文化が広がって以来、「クリープを入れないコーヒーなんて」というキャッチコピーができるほどの人気商品となりました。それを支えたのは、独自の製造技術と「100%牛乳成分由来」という他社にまねできない商品特長であり、当社がつくった「コーヒー用粉末クリーム市場」をいまでも変わらず牽引しています。

また、1985年に日本初となる、ロングライフ製法による樹脂カップ入りの「チルドカップ飲料」を発売しました。スタイリッシュで持ち運びしやすい容器と飲み切るのにちょうどいい容量が人気を呼びました。1993年には、当社が自ら開拓した「チルドカップ飲料市場」に「マウントレニア カフェラッテ」を投入。外で飲むコーヒーは缶コーヒーや喫茶店のイメージが強かった中、エスプレッソとミルクのベストバランスを追求した商品は、いまでもチルドカップ飲料のトップブランドとして長く愛されています。

これからも「健康」と「おいしさ」を追求した商品の開発を目指していきます。



〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

＜会社情報＞

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

商品カテゴリー

<p>牛乳類 「森永のおいしい牛乳」「まきばの空」など</p> 	<p>飲料 チルドカップコーヒー「マウントレーニア カフェラッテ」やチルドカップ紅茶「リプトン」など</p> 	<p>ヨーグルト 「ビヒダスプレーンヨーグルト」「ラクトフェリンヨーグルト」「トリプルヨーグルト」など</p> 	<p>デザート 「森永の焼プリン」「森永牛乳プリン」など</p> 	<p>業務用商品 外食産業等向けの商品</p> 
<p>アイスクリーム 「ピノ」「MOW(モウ)」「PARM(パルム)」など</p> 	<p>クリープ・れん乳・その他食品 「クリープ」「森永ミルク・加糖れん乳」「森永絹ごしとうふ」など</p> 	<p>チーズ・バター 「クラフト スライスチーズ」「森永北海道バター」など</p> 	<p>育児用食品 育児用ミルク「E赤ちゃん」「チルミル」、特殊ミルク「ニュー MA-1」、幼児用食品「やさいジュレ」など</p> 	<p>海外用商品 世界中でさまざまな商品を供給しています。</p>  
<p>ヘルスケア・健康食品 大人のための粉ミルク「ミルク生活」、ビフィズス菌を活用したサプリメントなど</p> 	<p>流動食・介護食 流動食・嚥下食・栄養補助食品など(株式会社クリニコ)</p> 	<p>宅配商品 「森永カルダス」「腸活ミルク」など</p> 	<p>微酸性電解水生成装置 工場や店舗など食品を扱う場所を高い衛生レベルに保つ微酸性電解水生成装置です。</p> 	

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

〉 会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

提携ブランド



Kraft

1970年にチーズおよびチーズ関連商品で技術提携。
KRAFTはKraft Foodsの商標です。



Lipton

1984年に業務提携。
チルド紅茶飲料などの商品を販売。
リプトンはユニリーバの商標です。

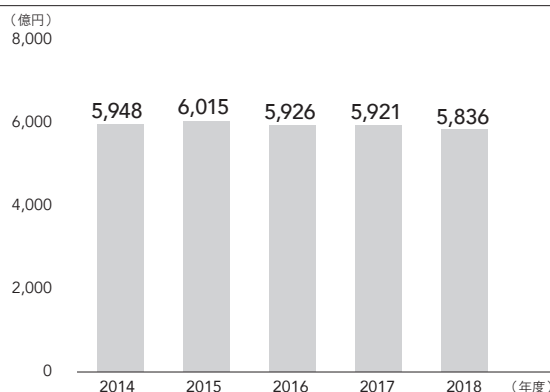


Sunkist

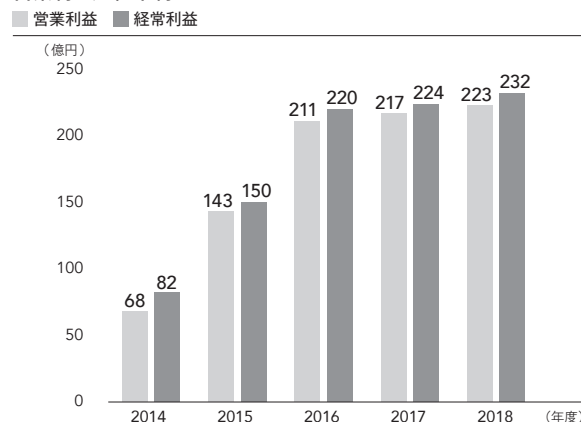
1971年に商標使用許諾契約を締結。
果汁飲料などの商品を販売。
サンキストはSunkist Growers, Inc., U.S.A.の登録商標です。

財務ハイライト

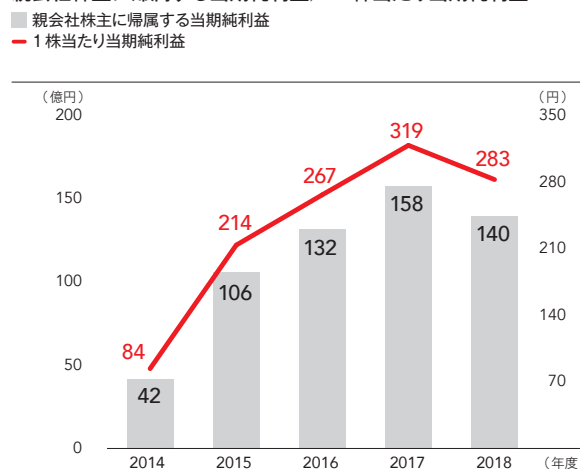
売上高



営業利益 / 経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益 / 1株当たり当期純利益



事業セグメント別 (2018年度)

事業セグメント	売上高	営業利益
機能性・食品素材事業 (B to B事業)	969億円	58億円
国際事業	289億円	16億円
健康・栄養事業	491億円	31億円
B to C事業	3,107億円	105億円

※セグメント名は旧中期経営計画のものです。現中期経営計画のセグメントとはか
い離があります。

株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 : 144,000,000株

発行済株式の総数 : 49,458,374株 (自己株式351,669株を除く)

株主数 : 26,718名

大株主の状況 (2019年3月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
森永製菓株式会社	5,249千株	10.61%
株式会社みずほ銀行	2,445千株	4.94%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,016千株	4.08%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,854千株	3.75%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,746千株	3.53%
株式会社三菱UFJ銀行	1,388千株	2.81%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,341千株	2.71%
株式会社SMBC信託銀行 (株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	1,328千株	2.69%
森永乳業従業員持株会	969千株	1.96%
三菱UFJ信託銀行株式会社	923千株	1.87%

※持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除した数に基づき算出しています。

株主分布状況 (2019年3月31日現在)



※小数点第二位以下を四捨五入しています。

その他 2.7%

WEB

業績情報に関する詳細はIRサイトへ
▶ <https://www.morinagamilk.co.jp/ir/>